



水産情報速報版

H18. 3.24 1185

静岡県漁業協同組合連合会
☎054-254-6011 Fax054-253-9343
編集・発行 = 指導部 漁政課
URL: <http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

1. 第49回県漁協女性部大会開催

- JF静岡女性連 -

県漁協女性部連合会では、3月17日静岡市・県男女共同参画センター(あざれあ)において、県下漁協女性部員等約200名参加のもと、第49回県漁協女性部大会を開催しました。この大会は、県下漁協女性部が一堂に会し、女性部組織の今後の進め方について研さんし、もって明るく豊かな漁村づくりを目指すことを目的として、毎年開催しているものです。

当日は、山本会長の挨拶に続いて、来賓として県水産振興室鈴木専門監、本会西川会長、並びに県信漁連星川会長より夫々祝辞が述べられました。

続いて、JA静岡市女性部販売所アグリロード美和代表の海野フミ子氏より「私たちアグリロードの女性組織活動事例について」と題して、地域女性部活動の停滞・生産量の減少に危機感を抱き、組織活動の核作りとして農家女性組織の企業化を思いつき、アグリロード美和を立ち上げた経緯や苦労話を交えながら記念講演が行われました。

その後、JF(漁協)のパートナー組織として、豊かで活力ある「浜」づくりに向けた女性部活動を展開する旨の大会宣言が読み上げられ、満場一致で採択されました。

また、昨年12月2日に開催の、第11回県青年・女性漁業者交流大会で発表した「静岡県漁業協同組合女性部連合会のこの10年の活動を振り返って」を、JF女性連山本会長が発表した後、毎年恒例となっているアトラクションでは、各地区漁協女性部より11の演目が披露され、楽しい一時を過ごすとともに部員相互の交流・親睦を深めました。

2. 日常の食生活で「魚介類料理派」は1割にとどまる

大日本水産会では、昨年9月に「内食・外食・中食における消費実態ニーズ」を把握するためのアンケート調査(水産物を中心とした消費に関する調査)を実施し、このほどその結果を取りまとめました。

それによると、日頃の食生活全般に亘り肉料理派が6割を占め、魚介類料理派は1割程度と少数派で、しかも小中学生がいる世帯で魚介類料理派が最も少ないことが判明し、昨今の水産物消費の減退傾向を裏付ける結果となりました。さらにその要因として「同居家族と子供自身の双方が魚介類を好まない」が上げられ、今後若年層での魚離れの進行が予測される状況となりました。

この調査は世帯を「単身」「夫婦2人」「親と子の核家族」「親子孫の三世代家族」に分類し、食生活を「内食(家庭で作って食べる食事)」「外食(飲食店で食べる食事、出前含む)」「中食(調理された惣菜、弁当を家庭で食べる)」に分け、全国の18歳以上の男女を対象にウェブアンケートの形式で実施しました。

魚介類料理の阻害要因としては「同居の家族が好まない」が32%、「肉より割高」が31%、「調理が面倒」が25%などとなっており、回答者全体で「自分が好まない」と「同居の家族が好まない」を合わせると、「魚嫌い」は半数以上となり、さらに「同居の家族が好

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

まない」との回答のうち、7割強は「子供が好まない」と回答しています。

3. 国や国際機関の規制を無視 違法漁業年1兆円超

国や国際機関の規制を無視したり、漁獲量を報告しなかったりする違法な漁業の規模が年間95億ドル(約1兆1千億円)になり、マグロなどの漁業資源や発展途上国の経済に大きな影響を与えているとの報告書を、英国政府や国際自然保護連合(IUCN)などでつくる専門家の委員会がこのほどまとめました。

委員会は、公海で活動する漁船などに関する国際的な情報ネットワークの設立や、水揚げ港での規制強化などの対策を取ることを各国政府に勧告しました。

英国、カナダなど6カ国の政府と環境保護団体などの委員会が、2年がかりで各国の漁業統計や貿易統計などを分析しました。違法な操業の30%が公海で行われ、監視能力が貧弱なアフリカ諸国沿岸では非常に深刻な状況です。対象にはマグロやカジキ、サメなど減少が著しい種が多く、南極周辺の深海にすむ銀ムツなど、違法な漁業によって短期間に資源が急減した例もあります。

国際的な漁業資源の管理機関に加盟していない国に、漁船の籍を移して規制を逃れる便宜置籍船も多く、人工衛星を使った監視を欺く装置なども普及しています。報告書では、昨年、日本で発覚した台湾や中国の漁船によるマグロの産地偽装の事例も紹介しています。

4. 気象庁がスパコンの更新 世界のトップクラスの能力

気象庁では、3月1日以降天気予報作業の中心であるスーパーコンピューターの数値予報モデルの改善を行い、計算速度が28倍となるように5年ぶりに更新しました。

従来は、6時間先までの降水予報を5^{キロ}四方ごとに計算していますが、スーパーコンピューターを更新したことにより、1秒間に21兆5千億回の計算ができるようになり、1^{キロ}四方ごとの計算が可能になり、どの地域にどれぐらいの強い雨が降るか、より詳細に予測できるようになりました。

週間予報や季節予報では、さまざまなパターンを計算し、結果を総合的に見て判断する「アンサンブル予報」という手法が用いられ、週間天気予報・季節予報の精度向上が図られています。平成19年には、台風予報の精度向上を図るための台風アンサンブル予報モデル運用を開始するほか、数値予報モデルや波浪モデル等の改善も行う計画です。

5. 新刊図書紹介 「うなぎでワインが飲めますか？」 田崎真也著

角川書店は、このほど「うなぎでワインが飲めますか? - そば、てんぷら、チョコレートまでのワイン相性術 -」を発行しました。

本書は、世界一のソムリエとして名を馳せる田崎真也が、世界のワインと料理の相性から、また日本においてタイトルにもあるように、鰻料理をはじめ、そば、ふぐ、てんぷらと相性の良いワイン選びをアドバイスしています。鰻といえばフランスロワール地方の郷土料理「マトロート」(鰻のワイン煮込み)にも触れ、市販の蒲焼を使った料理法も伝授しています。

6. 会議・日程(3月28日(火)~4月10日(月))

- 既報分省略 -

4月3日(月) 県漁連 = 館内団体職員連絡会 (県水産会館)

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう